

AE(アコースティックエミッション)法を利用した疲労試験



耐久試験において試験サンプルの破損レベルが微小な場合

試験機モニターの荷重だけでは破損のタイミングが不明瞭な場合があります。

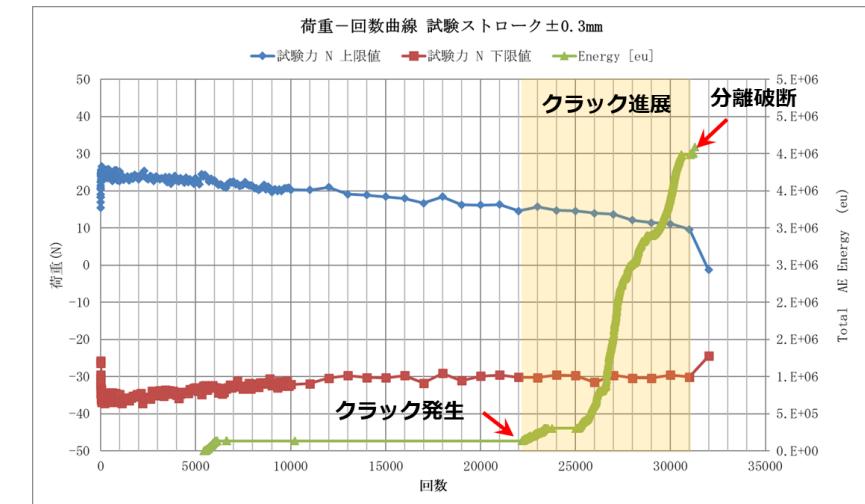
AE法を取り入れる事により、破損時の弾性波を検出し荷重のトレンドでは分かりにくい
破損のタイミング検出の精度が上がります。

試験イメージ



サンプルにAEセンサーを貼り付けます。
貼付けが可能であれば、サンプル形状は問いません。

試験サンプル



試験結果

試験機荷重では顕著な変化が見られない
初期損傷を弾性波で検出（右図参照）

▼お問い合わせ先はこちら

評価技術に関するご質問・ご相談はWebのお問い合わせフォームまで

<https://jtla.co.jp/contact/01/>